

令和5年度 社会福祉法人 山梨市社会福祉協議会 事業報告書

地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化や地縁組織のつながりの希薄化、そして、コロナ禍により孤独・孤立の問題が深刻化するなか、当事者やその家族の生きがいづくりや居場所づくりなどを社会全体で進めていくことが求められています。一方で、エネルギー価格や物価の高騰は、私たちの日常生活を圧迫する事態となっています。

このような状況において、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織である山梨市社会福祉協議会では、「第3次山梨市地域福祉活動計画」に基づき、「地域のつながりと、支え合いの心に満ちたまちづくり」を基本理念に三つの基本目標を目指し施策を推進してまいりました。

基本目標1の「地域の身近な福祉課題に気づき、行動できる人材づくり」では、地域福祉に関わる専門性の高い福祉人材の確保のため、コミュニティソーシャルワーカーを増員しました。広報活動の強化を図るため、ホームページリニューアルを行う事業者選定をプロポーザル方式により実施しました。市民後見人の養成では、実務実習において全カリキュラムの実施に至らず、次年度の課題として取り組んでまいります。

基本目標2の「お互いが見守り、支え合い、つながる地域づくり」では、地域における見守り・支え合い活動の促進のため、地区社協で実施している見守り活動ツールを共有しました。地域活動や交流の場づくりのため、サロン活動の立ち上げ支援を行い、新たに2つのサロンが活動を始めました。各種団体活動の担い手づくりの支援や会員増強に向けた活動に取り組みました。

基本目標3の「地域で安心して暮らせる仕組みづくり」では、相談支援ネットワークの充実のため、山梨市重層的支援体制整備事業における支援会議や庁内検討組織の委員として参画し連携を図るとともに、山梨市生活支援体制整備事業の「まるごと支援会議」等に参画し、高齢者や障害者など、生活課題を抱えた人の支援体制の確立に向けた取り組みを行いました。災害時における被災者支援体制を強化するためのマニュアルの改定や災害ボランティアセンター設置運営訓練が未実施のため、次年度の最重要事項として取り組んでまいります。

「障害者相談センターちどり」では、精神保健福祉ボランティア養成研修を実施し、精神障害があっても地域で充実した生活が送れるよう取り組みました。「山梨訪問介護事業所」では、介護人材確保のため、帝京福祉専門学校の協力を得て介護の魅力発信事業への参画やチラシの配布を行いました。

指定管理施設の「老人健康福祉センター」と「児童センター」3カ所の運営では、新型コロナウイルス感染症の5類移行後における利用者増加対応のための施設整備や各種イベントを実施しました。

法人運営については、組織・事業・財務に関する中期的な展望に立った具体的な取り組みをまとめた「中期経営計画（R6～10）」を策定し、経営戦略の明確化を図りました。

I 法人経営部門

1. 自主財源の確保

地区社協活動をはじめ、地域福祉活動の円滑な運営のため、区長（自治会長）様、組長様方のご協力をいただき、普通会员や賛助会員の募集を行い、自主財源の確保に努めました。

- ・ 普通会员 9,436 世帯 9,423,500 円（前年度比△120 世帯、△113,700 円）
- ・ 賛助会員 163 事業所 1,111,000 円（前年度比 4 事業所、70,000 円）

2. 理事会、評議員会の開催

- ・ 理事会 令和5年6月9日、6月26日、8月29日、11月15日、令和6年1月31日、3月26日
- ・ 評議員会 令和5年6月23日、12月1日、令和6年3月26日

3. 財務・労務・人事等の管理運営

- ・ 令和4年度事業・会計監査の実施 令和5年5月31日
- ・ 令和5年度上半期事業・会計監査の実施 令和5年10月25日
- ・ 税理士による月例監査（年12回）決算時監査（年1回）の実施

4. 火災等災害被災者の見舞活動等

- ・ 火災見舞 0 件
- ・ 法外援護 0 件

II 地域福祉活動の推進部門

1. 地域福祉活動事業

(1) 地域福祉の推進

① 地区社会福祉協議会及び福祉団体の活動支援・育成

加納岩地区社協ほか、計11地区に、5,611,750円の助成を行いました。

② 市地域福祉大会の開催

少子高齢社会における相互支えあいの地域づくりの気運を高めるため、関

係者の参集のもと、令和6年2月7日に山梨市民会館ホールにおいて、第19回山梨市地域福祉大会及び第19回山梨市老人福祉大会を開催しました。

なお、地域福祉大会では、山梨市社会福祉協議会表彰基準による3個人、1団体の表彰、さらに、本会の発展のため高額の寄付をされた4個人、1団体また、本会の退任役員13個人に対して感謝状を贈呈しました。また、第2部としまして、山梨県立大学の高木寛之准教授をお迎えし、「地域のつながりと支え合いのこころに満ちたまちづくり」と題しご講演いただきました。

③市ボランティア大会の開催

ボランティア活動を通じた市民参加の地域づくりの気運を高めるため、市内福祉関係者等の参集のもと11月にボランティア大会を4年ぶりに開催しました。

④広報啓発

- ・ 広報「やすらぎ」の発行（年4回） 市内全戸配布、各12,000部
- ・ ホームページ情報発信事業 ※必要な都度随時更新
- ・ インスタグラム（SNS）の更新
- ・ ボランティア情報ボードの設置・活用 市内10か所

(2)高齢者福祉の推進

①老人福祉月間における敬老慶祝事業を次のとおり実施しました。

会長、市老人クラブ連合会長らが、新100歳の方20人を訪問し、慶祝品を贈り長寿を祝いました。また、満88歳の方239人へ慶祝品を贈呈しました。

②ふれあい陶芸窯の管理運営

③ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンク用具等の管理貸出

(3)母子・父子世帯福祉の推進

①11月23日にひとり親家庭一日行楽事業を実施しました。（行先：東京ディズニーランド・31人参加）

(4)障害者福祉の推進

・ 在宅障害児者生きがい事業

①2月18日に在宅障害児・者一日行楽を実施しました。（行先：江戸東京たてももの園他・7名参加）

②精神保健福祉ボランティアぬくもり他、多数のボランティアの方々に協力をいただき、さつま芋収穫祭(10月6日・35人参加)を実施しました。

(5)その他の事業

①山梨市生活支援サポーター養成講座を開催

1月23日、25日、30日、2月9日 全4回 延べ92名参加

2.ふれあいのまちづくり事業

(1)総合相談事業

弁護士や社協職員などが相談員となって、心配ごと相談、法律相談、ボランティア相談、電話相談、介護相談、子育て相談など、各種相談事業を行いました。

た。

- ・弁護士による無料法律相談 25件

(2)住民参加による地域福祉事業

各地区社会福祉協議会や区長・民生委員児童委員等の企画運営により、各地区において、ふれあい・いきいきサロンが開設され、地区社会福祉協議会を通じ、支援・助成を行いました。助成金は、共同募金配分金などを活用しました。

(3)生活困窮者家計改善支援事業

生活困窮者自立支援制度の一環として、家計改善支援事業を行いました。

定期的に面談を行い、家計表の作成を通じて「家計が見える化」することにより、相談者とともに生活課題の解決に取り組みました。

- ・利用者数 10名

3.ボランティア市民活動センター事業

(1)相談・登録・あつ旋事業

ボランティア活動を始めたい方や、ボランティアによる支援を受けたい方、また、学校等で開催される福祉講話等に対する相談・あつ旋を行いました。

- ・ボランティア登録者数 85人
- ・ボランティア登録団体数 15団体・会員数 862人

(2)入門講座開催事業

ボランティアチャレンジ2023を開催しました。

- ・手話体験 2回(52人)
- ・認知症(キッズ)サポーター養成講座 2回(33人)
- ・海外ボランティアの話 1回(13人)
- ・ユニバーサルデザインを考えよう 2回(28人)
- ・赤十字ボランティア 2回(38人)

(3)活動別ボランティア養成講座開催事業

- ・手話奉仕員養成講座(全40回 修了者16人)
- ・朗読講習会(全3回 延べ25人)
- ・レクリエーション講習会(全3回 延べ54人)

(4)福祉のこころ醸成事業

市内全小学校区に福祉教育推進委員会を設置し、地元小学校の協力を得て、地域の特色を活かし、学校の教育課程とも連携しながら、子どもまつりや交流事業、福祉講話、昔の遊び集会などを実施しました。

- ・加納岩地区 縦割り集会(全児童)、交流グラウンドゴルフ大会(6年生)
福祉講話(3年生)、昔の遊び集会(1年生)
- ・日下部地区 福祉講話(3,4年生)、昔の遊び集会(1年生)
交流グラウンドゴルフ大会(6年生)
- ・八幡地区 福祉講話(4年生)、交流グラウンドゴルフ大会・
昔の遊び(1年生)

- ・山梨地区 ろう学校との交流、ふれあいまつり（全児童）
バリアフリー教室（4年生）、昔の遊び（1年生）
- ・日川地区 福祉講話（5年生）
- ・後屋敷地区 交流グラウンドゴルフ大会（6年生）
児童発達支援センターひまわり訪問（6年生）
バリアフリー教室（3年生）、昔の遊び教室（1年生）
- ・岩手地区 工作教室（3～6年生）、福祉講話（3～4年生）、グラウンド
ゴルフ大会（1～2年生）、昔の遊び・花いっぱい運動（全児
童）
- ・笛川地区 6年生を送る会、総合学習（3年生）、令和吉祥太鼓（4～6
年生）、こんにやく作り（3年生）、牧丘朗読の会（全児童）
ふれあいグラウンドゴルフ大会（6年生）、いじめ防止事業
（4～6年生）、児童用図書購入

(5)ボランティアコーディネーターの配置

ボランティア活動を始めたい方や、ボランティアを受けたい方などの連絡調
整や、ボランティア活動の普及・啓蒙のための業務を行いました。また、各種
ボランティア市民活動グループの活動援助を行いました。

(6)その他の活動

- ・NPO法人フードバンク山梨が行うフードドライブへの協力

4.共同募金・歳末たすけあい事業

(1)共同募金配分事業

共同募金配分金により、地域における各種福祉事業を展開するため、次の事
業を関係諸団体とともに実施しました。なお、牧丘地域・三富地域の福祉運動
会は中止となりました。

- ① 身体障害児・知的障害児(66人)に対し、激励金を贈りました。
- ② ボランティア市民活動センターが行う入門講座等に必要な物品の購入や
各種ボランティアグループへの助成等を行いました。
- ③ ふれあい・いきいきサロン運営のための協力、活動への助成を行いました。
 - ・設置数 61か所（山梨地域 36か所、牧丘地域 18か所、三富地域 7か所）
 - ・延べ開催回数 592回
 - ・延べ参加者数 7,866人
- ④ 老人クラブ連合会が実施するグラウンドゴルフ大会、健康スポーツ事業等
への助成を行いました。
- ⑤ ひとり家庭一日行楽事業への助成を行いました。
- ⑥ 障害者福祉会が実施する事業への助成を行いました。

(2)歳末たすけあい事業

歳末たすけあい募金運動と、見守りと声かけのための訪問を各地区社協評議
員の協力のもとに実施しました。

生活困窮世帯 21 戸、ねたきり高齢者 10 人、85 歳以上のひとり暮らし高齢者 277 人に対して激励援護活動を行いました。

5.老人健康福祉センター指定管理事業

感染症法上の位置づけが、令和 5 年 5 月 8 日から 5 類へ移行したことに伴い、利用方法を緩和する対策を実施し、平常時の状態に段階的に戻しました。

施設につきましては、開館から 27 年が経過し、経年劣化が進むなか、利用者が快適に施設を利用していただけるよう、大広間の畳入替、8 月 22 日から 9 月 13 日まで臨時休館とし給排気塔の改修工事を行いました。

また、施設設備メンテナンスのため、5 日間臨時休館をいたしました。

・年間延べ利用者数 25,816 人（1 日平均 94.5 人、前年度比+4,152 人）

6.児童センター指定管理事業

児童センターは、0 歳から 18 歳未満までの子どもと、その保護者の方が利用できる施設です。子供たちの健全な遊び場として、自主的な活動や遊び、センターで計画する行事への参加などを通じて、心身ともに豊かで、健康的な子どもたちの育成を目的とし指定管理業務を行っています。

- ・加納岩児童センター 年間延べ利用者数 1,715 人
- ・日下部児童センター 年間延べ利用者数 2,741 人
- ・山梨児童センター 年間延べ利用者数 1,806 人

7.放課後児童健全育成(学童クラブ)運営受託事業

放課後、保護者及び同居家族の就労等により、留守家庭となる児童に対し、集団活動を通じて児童の健全な育成及び豊かな情操を育む生活習慣を習得させることを目的とした学童保育を受託しました。令和 5 年度から以下、5 学童のみの受託となっています

- ・保育児童登録者数（令和 6 年 3 月 31 日現在）
加納岩(47 人)、加納岩おおとり(32 人)、日下部第一(49 人)、日下部第二(27 人) 山梨(32 人) 計 187 人
- ・土曜日学童保育児童登録者数（令和 6 年 3 月 31 日現在）
加納岩学童クラブ(13 人)、日下部第一学童クラブ(13 人)、計 26 人
※令和 5 年度は、加納岩、日下部のみで開所

8.福祉団体事務事業

各種福祉団体の事務局を担うとともに、活発な事業の推進を支援しました。

(1) 山梨市民生委員児童委員協議会

臨時総会、地区会長会議の開催、県民児協やその他関係機関行事への参加

(2) 山梨市老人クラブ連合会

理事会、女性委員会の開催、健康・生きがいつくり事業（いきいき百歳体

操の普及、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、スポーツ大会、手芸教室、高齢者作品展）の開催、スマートフォン教室の開催、高齢者友愛訪問事業等の受託、健康づくり予防運動・寝たきりゼロ運動の推進、県老連等の事業への参加・協力

(3) 山梨県共同募金会山梨市支会

共同募金（家庭・街頭・職場・大口事業所募金等）の受付事務、配分金の申請・審査等の事務、歳末たすけあい事業の推進、募金受付

(4) 日本赤十字社山梨市地区

赤十字会員の入退会及び会費の徴収、災害時救援物資の管理や罹災世帯への配付、赤十字奉仕団活動（自主研修会の実施、県支部活動や市防災訓練、地域福祉社会活動、県支部研修会）の推進、国内外災害義援金等の受付・送金ほか

(5) 山梨市障害者福祉会

総会、理事会、役員研修会の開催、スポーツ大会、グラウンドゴルフ記録会、ボッチャ交流会、手芸教室の開催、県身体障害者連合福祉会事業への参加、協力

Ⅲ 福祉サービスの利用支援部門

1.日常生活自立支援事業

基幹的社協（事業の一部を県社協から委託されている社協のこと。）として、山梨市内において軽度認知症高齢者や知的障害・精神障害者等で自己決定能力が低下しているため、金銭管理や各種福祉サービスなどを適切に利用することが不安な方等に対し、契約締結し、相談・支援を行いました。

- ・相談調査支援件数 797 件
- ・新規契約締結件数 1 件

2.山梨市障害者等相談支援事業

障害者相談センターちどりを山梨市老人健康福祉センター内に開設し、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営めるよう各種相談に応じました。

- ・相談件数 延べ 1,973 件、145 人（前年度比△570 件、－41 人）
精神障害 677 件、身体障害 209 件、知的障害 429 件、重症心身障害者 16 件、
重複障害 311 件、発達障害 95 件、高次脳機能障害 1 件、障害児 235 件
- ・障害支援区分認定調査 147 件（前年度比＋34 件）

3.生活福祉資金、社会福祉金庫貸付事業

低所得世帯等の自立助長をはかるため、民生委員児童委員の協力を得て、生活福祉資金借受希望者の相談受付や借入者の償還指導を行いました。

また、生活相談支援センターと協力し、日常生活の維持が困難な世帯を対象と

した生活福祉資金の相談援助等を行いました。

- ・生活福祉資金新規貸付 0 件
- ・社会福祉金庫新規貸付 0 件

4.法人後見事業

認知症、知的障害、精神障害のある方など判断能力が低下喪失している方が不利益を受けないよう、身上保護と財産管理を行いました。

被後見人の死亡により、1 件の後見事務が終了しましたが、令和 6 年 3 月 31 日現在で、後見類型 3 件、保佐類型 1 件、補助類型 1 件を受任しています。

IV 在宅福祉サービス部門

1.介護保険サービス事業

介護保険サービス事業者として、訪問介護事業に取り組み、要支援・要介護者に対しサービスの提供を行いました。また、介護報酬請求業務等、介護サービスの円滑な事業運営に努めました。

山梨訪問介護事業所

- ・年間延べ利用者数 3,612 人(1 か月平均 301 人、前年度比+845 人)

2.高齢者地域支援事業

(1)高齢者生きがい活動支援通所運営受託事業

牧丘町総合会館会議室において、在宅高齢者の生きがいや、自立した生活の確保を図るため、体操、手芸、歌やレクリエーション等を行い、介護予防活動を行いました。

- ・実施日数 47 回 年間延べ利用者数 599 人

(2)外出支援サービス事業

車いす生活者が、在宅福祉サービスを提供する場所や、医療機関や福祉施設などへ通院(所)するため、外出支援サービスを受託しましたが、令和 5 年度は利用実績がありませんでした。

3.障害者福祉サービス事業

指定事業者として、障害程度が一定以上の方に対し、各種サービスを提供しました。

①居宅介護(ホームヘルプ)サービス (同行援護含む)

- ・年間延べサービス 利用者数 633 人 (前年度比△493 人)

②声の広報事業

朗読ボランティアの協力を得て、市広報、市議会だより、社協広報、新聞コラム等を録音、ダビングし、視覚障害者(5 人)へ情報提供を行いました。

③福祉有償運送事業

障害者及び要介護高齢者のうち単独では公共交通機関の利用が困難な方で、在宅生活の継続に必要な通院等に対し、福祉有償運送事業により外出を支援し、障害者及び要介護高齢者の在宅生活の継続、福祉の向上を図る事業を行いました。